

さつま川内市 若おゆ作業所にての発表原稿より
友愛会(家族会) S34年生まれの51才、会社員です。

七転八倒(凜として生きる)

皆さんこんにちは。今日は、お招ねき頂いて

ありがとうございます。私は、小原と申します。

今日は、すごくいいハナシをします。楽しみです。楽しみにしててください。3つのポイントに絞ってほしいと思います。

ひとつ 社会性の獲得

ひとつ 精神病の予防

ひとつ ドクター、ヤクスリとのつきあい方

以上3点です。

その前に、私のプロフィールをご紹介します。

今まで30年間働いてきましたが、持病は精神分裂症、いま下という統合失調症です。15才の時、高校一年の春、鹿児島市の某病院に

藤田先生へ

これをブログに掲載することを承諾します。

小原 香道

8122.11.26.

入院しました。それまでは、成績優秀が中流
家庭に育ちました。当事の診断名は、うつ病
今の病名とは違ふといふことにお気付きですか。
そう誤診だったので、2年間の入院生活を
おくりましたので、高校を卒業するのに五年
間かかりました。卒業を間近に再入院、今
までの入院歴は五回程です。最近では、自分の
病気のコントロールができるようになり、10年に
一回ぐらい一週間から十日の入院で回復する
ような現状です。

高校を20才で卒業しましたが、入院中であ
った為、当然進学とか就職とかの選択は
ありませんでした。

家族のサポートもあり、最初はお実家から
土方にいったり、喫茶のアルバイトをしたり

二年間でした。その後、社会生活にも慣れ自信も
 ついてきた頃、姉の紹介により、^{東京}某会社に入社して
 働き始めました。都合、一七年間働きましたが
 最初の三年間はアルバイト。その後、正社員として
 採用され、結婚式ヤパリー、会議の責任者として
 勤めました。洋食レストラン、和食堂、ピアノホールなども
 経験しました。

三七才の時、会社の許可を得て、県立短期
 大学の夜間に通わせて頂きました。朝、五時半
 に起床し仕事場に行き、夜、六時から大学の
 授業、就寝する時は午後十時でした。三年間
 働きながら商業経済を学び、首席で卒業
 しました。おまけに、四〇才で鹿児島大学
 法文学部合格という目標も達成しました。

その後、東急ホテルを退社して、政治家の
 秘書として勤め、大手新聞社のグループ会社で
 営業として半年間現在に居っております。

以上が私のプロフィールになります。仕事を
 続けてこられたことには3つのポイントがあります。

- 一、医療スタッフの充実したサポート
- 一、家庭~~と~~の献身的なサポート
- 一、職場の理解とサポート

実はもうひとつありまして、
 決定的に大切な事、

本音ではなせる人が、ひとりでもいるという事。

友人でも、恋人でも、妻でも、ドクターでも。

心の底からみせられるひとがひとりいるという事です。
世の中、自分の事を理解してくれる人が、うんた
いる保証はあまりありません。

でも、たった一人の理解者がいてくれるという
事実が、自分の心を支えてくれるのです。

AGENCY

実際には、サポーターだけでなく、本人の努力も

必要です。権利、権利と人権や、精神病患者の
立場だけを主張してもいけません。

当然、建常者の方々や、老若男女と一語に
やっていく為には、我慢や辛抱もすごく大切です。
これは、ストレスに対する耐性がつくという事です。

例えは、精神病患者は、一般の人々からは、
 普通に通みても知らえない偏見があります。
 危険視されるという現実、そういうものか
 人間の世界だという悲哀しい性から逃げたは
 いけません。

アスナイ人間とみられていたのだから、
 それを払しょくする本人の努力がなくてはなりません

働いているんだから、お金ももらうのは当然、
 精神病患者にも人権があるはずという
 理想論をミニア持ちだしたらアウトです。
 私の経験からいつと、働く時は黙って、
 人の嫌がる仕事つらい仕事を進んで、
 私がやりますと、いつと、とりくむことを
 すると、周りの接し方が変わります。